



# 三次中央会報

ロータリークラブ

2017-2018 ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2710

事務所/広島県三次市十日市東 1-16-19  
TEL (0824) 64-1245  
FAX (0824) 64-1245  
E-mail m-c-rc@vega.ocn.ne.jp  
http://mrcr.server-shared.com

例会場/広島県三次市十日市南 1-5-5  
グランラッセ3次2F

例会日/月曜日 12:30~13:30

会長/箕田英紀

幹事/元廣修

- 本日のプログラム ゲスト/社会奉仕委員会  
産業環境部 農政課長 中廣 晋 様
- 次回例会日時 2018年2月26日(月) 12:30~
- 次回プログラム 会員卓話/ロータリー情報委員会  
鈴木崇司君、野村明弘君

## ■第1211回例会記録

- 日時.....2018年2月5日(月)12:30~
- 点鐘.....会長
- 国歌「君が代」斉唱.....全員
- ロータリーソング「我らの生業」.....全員
- ゲスト紹介 広島県議会議員 下森宏昭様  
G-12ガバナー補佐 明山晃映様  
" 補佐幹事 水本行亮様  
IM実行委員長 丸田洋司様

■開会挨拶.....箕田会長

●2017~18年度 国際ロータリーのテーマ



ロータリー：  
変化をもたらす

●2017~2018年度 三次中央RCスローガン

環境と健康を考え  
安らぎの空間をつくろう!

## 雪の多い冬です

皆さん、こんにちは。本日は職業奉仕委員会担当例会です。

ゲストに、広島県議会議員下森宏昭様をお迎えしています。下森様には公務ご多端にも関わらずお越しいただきまして誠にありがとうございます。後ほど「中高一貫校について」ご講演をよろしくお願ひします。

また、本日はIM実行委員会の三次ロータリークラブ明山晃映ガバナー補佐、水本行亮ガバナー補佐幹事、丸田洋司実行委員長にお越しいただいています。後ほどよろしくお願ひします。

2月4日は立春でした。年末からの大雪や寒波に見舞われている東北や北陸の日本海側は1メートルを超す積雪が過疎の村々を覆っています。高齢者の暮らしは如何ばかりかと案じています。昭和38年の豪雪を期に、広島県北の地域は人口流出が始まり、都市に人口が集中して参りました。その頃、私は三次町本通りに在りました桑本商店に勤めておりました。備北一帯から島根県を連日、雪道の中を配達していました。

東京などの大都市は、自然災害にもろいことが、今回の大雪で立証されています。大規模地震や津

波が襲ってきた場合、大パニックとなり、都市機能は壊滅するのではと危機感を持っています。

雪国に住む人は、除雪や屋根の雪下ろしなど、雪は悩みの種ですが、昔から大雪は豊作をもたらす吉兆との言い伝えがあるそうです。六花(りっか)や雪花(せっか)と花に例え、粉雪、綿雪、牡丹雪、細雪、淡雪と言いつけて情緒を味わったとあります。歌手の新沼謙治は「津軽には七つの雪が降るとか こな雪 つぶ雪 わた雪 ざらめ雪 みず雪 かた雪 春待つ氷雪」と歌っています。

また、雪の結晶の研究家である物理学者中谷宇吉郎氏は、「雪は天から送られた手紙である」と乙な言葉を残されています。雪国に暮らす心豊かな人間模様が浮かんできます。

寒気はしばらく続く気配です。インフルエンザが猛威を振るっています。体調管理には万全を期しましょう。



**■「四つのテスト」唱和.....村竹昇君****■IMご案内.....****明山晃映ガバナー補佐**

藤中ガバナーご出席のG12のIMが間近に迫って来ています。4月1日、ご出席奮ってお願い致します。

**丸田洋司実行委員長**

本年IM実行委員長を仰せつかっております丸田です。藤中ガバナーの「ロータリーの元気は地域の元気」をスローガンに、来る4月1日グランラサーレにて開催いたします。基調講演は、明山ガバナー補佐の縁戚に当たられます、兵庫県姫路市浄土真宗善教寺の住職結城思聞様(72歳)です。演題は「いのちみつめて」です。ご住職はフジテレビのアナウンサーとして(松倉悦郎氏)様々な番組の司会を歴任されて来ました。同期入社 of 逸見政孝様の闘病を支えられ、臨終を看取られ、葬式では弔辞をお読みになられたと伺っております。ガンに対する思い、また仏像を通しての思い等をお話しいただく予定です。

意見発表では、G12社会奉仕活動について情報を共有したいと思っています。



水本 AG 幹事、丸田 IM 実行委員長、明山 AG

**■幹事報告.....元廣幹事**

- R財団より確定申告用の領収書が届いています。
- ガバナー月信、ロータリーの友誌を配布しています。
- 熊平製作所より「抜粋のつづり」が届いています。
- 2018`19ロータリー手帳の予約を受け付けます。
- 次年度第一回理事役員会を2月13日、味の四季庭ひらたにて行います。

**■出席報告.....小田委員長****●第1209回 1月22日**

会員数	43名	Make-up	1名
欠席	4名	出席合計	40名
欠席者から規定免状	1名	出席率	97.56%

- 第1211回 本日の出席は43名中35名です。
- Make-up...沈君

**■SAA.....中西SAA**

- 明山ガバナー補佐、水本補佐幹事、丸田IM実行委員長よりニコニコBOXへご出宝
- 会員ニコニコBOXへご出宝

ニコニコBOX本日出宝額 30,000円

**■プログラム《ゲスト講演》.....職業奉仕委員会**

本日は、職業奉仕委員会の例会プログラムです。ゲスト講演講師には、広島県議会議員の下森宏昭様をお呼びしております。住み続けるためには、大切なことが3つあります。生活の基盤、医療、そして教育です。今日は、教育についてのお話をさせていただきます。講演内容は、三次高校が広島県中高一貫教育校になる事が、昨年の9月に決定されるまでのいきさつやご苦労話、また12月4日に会員の皆さんにご協力いただきました中高一貫校に関するアンケート調査の結果や会員の質問にお答えいただく予定です。

アンケートは、32名に回答いただきました。知らなかった2名を除いた30名のアンケート結果を、ご報告いたします。

- 1.中高一貫校のできる場所は、三次高校と28名(92%)が回答。
- 2.何時できますか? 2019年 21名(70%) 2020年4名(13%) 分かりません 5名(17%)でした。
- 3.どのようなタイプの学校? 6年間一体的な中高一貫教育 18名(60%) 併設型中学校から併設型三次高等学校に入学者選抜なしに進学する 7名(23%) 分かりません 5名(17%)

また自由に、質問も書いていただきました。感想などを含めまして、お答えいただけますようお願いいたします。

下森議員の経歴をお話いたします。1964年5月5日生まれ53歳。1983年三次工業高等学校卒、1987年熊本工業大学卒、1991年、26歳で三良坂町議に当選されて4期務められ、2004年三次市議会議員になられ、2007年広島県議会に当選されておられます。では、お願い致します。

安藤仁職業奉仕委員長



## 中高一貫校の概要

下森 宏昭



それではあらためまして皆様こんにちは。歴史と伝統あるこのクラブの場にこのような場を頂きましてまことにありがとうございます。

先日、安藤先生から、皆様方の率直な思い、疑問点を頂きました。私なりに勉強させていただきました。わかりやすく、できてよかったと思っていただけるよう一生懸命話したいと思いますので、最後までご清聴頂きますようお願い致します。

まず、端的になぜこの中高一貫校を三次に、という話になったのかというお話をさせて頂きたいと思えます。10年くらい前になろうかと思いますが、三次商工会議所の当時前川会頭とお食事を二人ですする時がありました。「わしは故郷の三次が好きなんじゃが、三次に今一番何が足りんと思うか?」、ということがきっかけなんです。生活の基盤、医療の問題や、教育の問題、様々な話をしましたが、前川会頭が一言言ったのは、「やっぱり、人よ。」と言われました。

「人」というのはどういうことかという、「人—教育」なんです。今、世界を巡る環境、国内を巡る環境というのは変化していますが、この変化を一生懸命守るといいますか、築き上げていくのは子や孫だと思います。しっかりと学べる教育レベルがあれば、人材交流がかなうのではないかというのが当時の前川氏の考えでした。

その当時から第三の工業団地がなかなか売れないという問題がありました。私も当時吉岡、村井、益田市長とともに、いろいろな企業にこの三次の地にぜひ来てほしいとお願いしました。9割か8割は、必ずこう言うのです。「いい学校がありますか」というのです。これはどういうことでしょうか。三次高校、青陵高等学校、日影館高等学校という素晴らしい高校があるという、企業の方ははつきりいうのです。東大や京大へ入れるような学校はありますか。6大学に入れる学校はありますかと聞かれます。そういわれますと、私たちは、三次高校がたまたま国公立大学にたくさんの方が入られますという位しか提案ができないという状況がありました。

また、私が県議になって早い者で12年になりました。私が入った時から、県立の三次青陵、日影館高校は1

学年2クラスしかないのです。1学年80人を切るか切らないか。広島県教育委員会は、こうなるともう統廃合を進めてきます。間違いなく、ここ数年で廃校の対象の学校になります。これではいけないのです。この三次には3つの高校を残さないとはいけません。このために、今回、県立三次高等学校に併設型で中学校をつけさせて頂きました。この後にもっと詳しい話をします。なぜ閉校、統廃合と中高一貫校をどう考えているかお話しします。

まずアンケートの中に、何の意味があるか、ようわからんという回答がありました。まず、三次市内の中学校の卒業状況があります。ここ10年くらいは400~470人くらいが行ったり来たりです。このうち、4割が、45%が市外に行っているんですよ。びっくりします。市外といっても庄原格致、実業もあろうかと思いますが、現実には三次市外に県立だけで148人外に出ています。それプラス私立ですから、218人が市外に出ているのです。中高一貫校ができると、既存の中学校、たとえば作木、布野、君田の中学校が廃校になるという不安があるということです。はっきり言って、これはありません。狙いの一つに、218人、45.8%の何人かを三次に残したいというのが一つの思いです。そして、中学校は二クラス80人から始めますが、私の予想は半分は三次、半分は市外の子だと思います。県内一になりますから、もっと学力をつけたいという子が来ると思います。ということで、既存の中学が定数割れして廃校はないと断言します。

資料に、県立三次高校と、この度目標としている、東広島の中高一貫校の高校の進学状況を見て下さい。三次高校も立派です。県立は96校くらいですが、トップ10に入っています。確かに、国立大学74人です。しかし、東広島は、193人ですよ。中身を見て下さい。残念ながら、三次高校には東大も京大もいませんが、東広島は、東大現役4人、京大現役45人です。すごいでしょう。これは本当にすごい。是非優秀な人材を三次に作りたいうことで、言い続けてきたわけでございます。

10年経った裏話ですが、中高一貫でレベルが高くなると県内一円から生徒がきますが、一番嫌がるのが私立の高校です。ちなみに、県北では新庄学園しかありません。県内にたくさん作れという、広島の私学連盟からもすごい反対運動が起きるんですね。わたしの学校をつぶす気か、ということです。そうだったことで、この10年間戦ってきましたが、何とか東広島の中高一貫校の成果ができたので、三次に作って頂くことになりました。これも一つの政治だと思います。増田市長を始め、三次市、三次市議会、そして細川会頭先頭にする三次商工会議所経済界の皆様が一致団結して、三次に来てくださいということでもなえられたわけです。三次だけです、10年間言い続けてきたのは、だから、私は胸を張って、一生懸命熱いものを届けてきたこそだということです。

安藤先生から30項目頂きました質問の中に、進学校

なの？スポーツ校なの？学費は高いの？寮はどうなの？というのがございます。これは、進学校でもあり、スポーツ校でもあると考えて下さい。もちろん、県立三次高校は120周年という歴史を迎えます。これは大切にしていかなければなりませんし、あらたな中高一貫校というわけにはいきません。三次高校の流れを汲んだ中高一貫校ということで考えて行きたいと思えます。中途の編入は、県外からの編入はできません。ただし、中学校2クラス、80人でスタートしますから、この中学校の子たちが高校になる時、今の三次高校1学年5クラスですから、2クラスのけると3クラスになります。それで、3クラスの高校を3年先は募集するという事です。それまでは一緒です。あくまで定員枠は中学校2クラス、高校は3クラス。そしてスムーズにいけば4クラスもやろうというのです。現状、グラウンド、寮、老朽化の問題があります。予算は2～3億です。これは主に余った教室があります。これを新たに仕上げて中学校に使うとか。この4月から今の校長先生1人、教頭先生を新たに一人、教員を新たに3人、併せて5人でどういう学校にするのか、どういったカリキュラムを組むのか、精査しながら来年の4月から開校予定です。

学費は高いのか。中学は無料。高校は県立高校の普通の授業料です。寮は、スタート時は高校の寮だけです。しかし、中学校も2クラス80人で、市外からということであれば寮が必要になると思えます。このことに関しては私も譲れない思いがありますので、新しい寮を是非建設してほしいという要望をしたいと思えます。

続きましての質問、入学試験ですが、中学校入学の時にももちろん試験があります。ただ、試験といっても適性検査、面接です。例えば、今日本でどういう問題があるか、社会現象があるかという作文をするとかを重んじるテストになろうかと思えます。これはもちろん、中高一貫校の独自のテストになるとお伺いしています。

また、学力水準の想定はあるのか、あるとすれば幅はどうかということですが、わたしはあくまで東広島市のレベルをそのまま持ってきてきたいと思えます。かなりの高教育になろうかと思えます。大崎上島に新しくグローバルリーダー校、中高一貫校ができますが、全て授業が英語という学校です。それくらい、全国で注目を集めています。ある意味島ですから、本当に勉強する子しか入れないような学校です。しかも建設に2年、68億かけます。しかも島で橋がないところですので、船で木材など材料を運びます。単価が高くなるということですが、こういうのが今回のグローバルリーダー校です。

また、アンケートのなかにかくさんのご要望もございますが、ほとんど重複していないと思えます。都立日比谷高校の授業方針を参考にしてもらえないかという意見もありますが、こもたいへん優秀な学校でございます。県立高校も基町とか学力が高い学校もありますが、広大付属だ

とか、修道くらいのレベルになってほしいというのが本来の思いですが、じゃあ、日彰館、青陵はどうなるのか不安だという話を聞きます。私は、今の三次高校のレベルを青陵と日彰館がまかなえるようになってくると思っています。先ほども言いましたように、両校1学年2クラス、教室がものすごくあまっています。市外からの子を受け入れられる環境はあると思えます。確かに、来年4月1日から中学校併設で始まりますが、この三次高校に入れなくても、三次青陵高校、日彰館に入れますから教育レベルは維持・担保できると思えます。難関問題は、子ども達の通学の足が問題です。スクールバスの充実、福塩線、芸備線の本数を増やすか。JRが厳しい状況ですので、便数を増やせというのは難しいと思えますが、精査しながら青陵、日彰館にも子供が行けるように考えて行きたいというところ

です。そういったところで、非常に、今、県内から、来年4月1日からの併設中学校に関しては注目の的でございます。現実私に私のデータを調べるならば、三次市内のお医者さんのお子もたちの8、9割は広島に出ています。広島に出なくても、三次で勉強して素晴らしいお医者さんになってほしい、という願いです。是非皆様方にはご理解いただきたいと思えます。

簡単にしかお話ししなかったわけですが、30項目の中でほとんどお話ししたと思えますが、このことはどう思っているか等ありましたら、残り時間で意見交換しまして、色々な場で皆様方の意見を反映したいと思えますので、今日はこの程度にとどめます。

一昨年、知事選、衆院選がありました。知事も3選目となり、県民の皆様が広島に住んでよかったということで頑張っていきたいということですが、一番大切なのは教育、人づくりということでご理解を頂き、来年もはや4度目の選挙になろうかと思っています。大変厳しい選挙戦になろうかと思えますが、中高一貫校、そして最後にこれだけはいっておきます。中高一貫校になったら、言葉は悪いかもしれませんが良い先生が来られます。間違いなく中高一貫校になるといい先生が来ます。しっかり来年に期待して頂きたいと思えます。ご清聴ありがとうございました。

